

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 5 年 6 月 14 日(2023.6.14)

【国際公開番号】WO2023/282004

【出願番号】特願 2023-500110(P2023-500110)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/102(2014.01)

C 0 9 D 175/04(2006.01)

C 0 9 D 5/20(2006.01)

C 0 9 D 5/00(2006.01)

B 4 1 M 1/30(2006.01)

B 3 2 B 27/40(2006.01)

10

【F I】

C 0 9 D 11/102

C 0 9 D 175/04

C 0 9 D 5/20

C 0 9 D 5/00 D

B 4 1 M 1/30 D

B 4 1 M 1/30 A

B 3 2 B 27/40

20

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 1 月 4 日(2023.1.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

30

【請求項 1】

アルカリ溶液での処理により脱離する皮膜を基材 A の表面に直接又は他の層を介して形成するための脱離可能な皮膜形成用組成物であって、

水酸基価を有し、重量平均分子量が 45,000 以上かつ数平均分子量が 10,000 以上であるウレタン樹脂を含有し、前記ウレタン樹脂の酸価が、 15.0 mg KOH/g 未満である、皮膜形成用組成物。

【請求項 2】

前記水酸基価が、 $1.0 \text{ mg KOH/g} \sim 30.0 \text{ mg KOH/g}$ である、請求項 1 に記載の皮膜形成用組成物。

【請求項 3】

40

前記ウレタン樹脂が、構成成分として、ポリエステルポリオール、及びポリエーテルポリオールの少なくともいずれかを含む、請求項 1 に記載の皮膜形成用組成物。

【請求項 4】

着色剤を含有する、請求項 1 に記載の皮膜形成用組成物。

【請求項 5】

印刷インキとして用いられる、請求項 4 に記載の皮膜形成用組成物。

【請求項 6】

前記印刷インキが、有機溶剤系インキである、請求項 5 に記載の皮膜形成用組成物。

【請求項 7】

プライマー、又はニスとして用いられる、請求項 1 に記載の皮膜形成用組成物。

50

【請求項 8】

基材 A の表面に直接又は他の層を介して、請求項 1 から 7 のいずれかに記載の皮膜形成用組成物からなる皮膜を有する印刷物。

【請求項 9】

前記皮膜が、印刷層、プライマー層、及びニス層から選ばれる少なくとも一つである、請求項 8 に記載の印刷物。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の印刷物に対して、前記印刷層の前記基材 A が配置されている面とは反対側の面に、基材 B を配置し、前記印刷物と前記基材 B とを積層してなる積層体。

【請求項 11】

請求項 9 に記載の印刷物に対して、アルカリ溶液で処理することにより前記皮膜を基材 A から脱離して得られるリサイクル基材 A の製造方法。

【請求項 12】

請求項 10 に記載の積層体に対して、アルカリ溶液で処理することにより前記皮膜とともに基材 B を脱離して得られるリサイクル基材 A の製造方法。

10

20

30

40

50